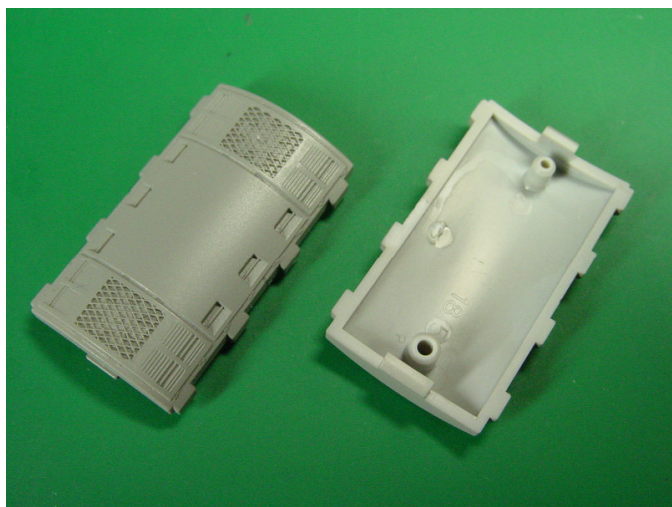




α-model (アルファモデル)

集中型クーラー AU75(H) <プレスルーバー・フック広>

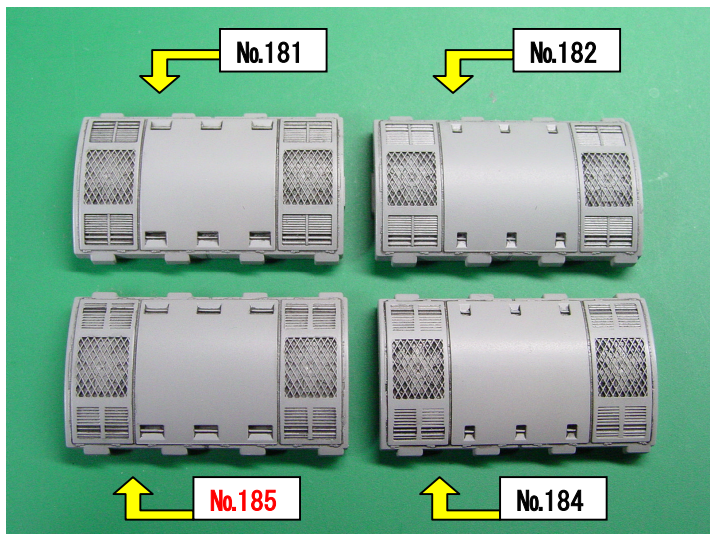
Nゲージ用パーツ No.185 (未塗装品・4個入り) 700円(税別)



▲製品の表と裏面

(各社の取付穴に対応したダボ・ツメが付いています。)

集中型クーラーAU75(H) <プレスルーバー・フック狭> について



▲ついに4種類のHタイプが揃いました。「フックの幅」「ルーバー形状」の違いに注目ください。(注: 写真のものは塗装・墨入れを行っています。)

左上: No.181 AU75(H)、右上: No.182 AU75(H) <フック狭>、右下: No.184 AU75(H) <プレスルーバー・フック狭> 左下: No.185 <プレスルーバー・フック広>

<製品の特徴>

- ①AU75(H)の中で、フックの幅が広く、ルーバーがプレス加工となっているタイプを模型化しました。
- ②2種類の取付足がモールドされています。丸型のピン状の取付足はKATO、マイクロエース、角型のツメ状の取付足はTOMIX、WINの車両に対応した形状になっています。不要となる方の取付足を切り取ることで、簡単に取付けることができます。(取付足はクーラーが別パーツとなっている製品に対応しています。)
- ③取付足をすべて取るか、屋根に穴あけ加工すれば、非冷房車やクーラーと屋根が一体成形の車両にも取付可能です。
- ④材質はABS製でプラキットと同じようにプラスチック用の塗料、接着剤が使用できます。

メーカー名: α-model [販売・製造 (有)ムラヤマ精密、(有)プライト]

企画・監修 牛久保 孝一 (β-PRODUCTS)

ホームページ: <http://mskanagata.com/a-model>

問い合わせ先: e-mail: a-model@mskanagata.com



▲取付例: KATO 製 103 系

(注: 写真のものは塗装・墨入れを行っています。)

- ・AU75は国鉄の集中型クーラーの代表的な形式です。
- ・外観面ではメーカーごとに異なるカバーが特徴で、大きく分類すると三菱(M) 東芝(S) 日立(H)の3種類があります。
- ・今回製品化したAU75(H) <プレスルーバー・フック広>は、日立(H)製で初期のフックの幅が広いパネルと、保守の関係なのかプレス製ルーバーのパネルが組み合わさった形状のものです。実車を注意して観察してみると、中央線201系の中でイレギュラーとして有名だったT18編成のモハ201-28や、常磐線103系で最後まで活躍していたマト7編成のモハ103-275、マト31のモハ102-744などもこのタイプを搭載していました。
- ・製品の取付対象となる車両は国鉄(JR)117、185、201、101、103、111、113、115、401、403、415、421、423系などです。変化に富んだ屋上のクーラー形態をぜひお楽しみください。